

2018年6月19日

京成電鉄株式会社

東京都選定歴史的建造物 「旧博物館動物園駅」駅舎を改修します

出入口扉に日比野克彦氏のデザインを使用

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也）では、7月より「旧博物館動物園駅（東京都台東区上野公園13-23）」駅舎の改修工事に着手します。改修にあたり、新設する出入口扉に、東京藝術大学（所在：東京都台東区、学長：澤 和樹）美術学部長の日比野克彦氏によるデザインを使用します。

これは、同学との「連携・協力に関する包括協定書」に基づく取り組みの一環として、「旧博物館動物園駅」駅舎の外観に日比野氏による上野エリアの文化・芸術施設をモチーフにしたデザインを取り入れることで、上野エリアにおける新たな文化シンボルの創出を図るものです。

「旧博物館動物園駅」駅舎改修工事の概要は次頁のとおりです。



改修後の「旧博物館動物園駅」駅イメージ（右は日比野氏によるデザイン）

「旧博物館動物園駅」駅舎改修工事の概要について

1. 工事期間 2018年7月上旬～9月下旬
2. 場 所 旧博物館動物園駅
(所在地) 東京都台東区上野公園13-23
3. 工事内容
 - ・ 駅舎出入口扉を新設、日比野克彦氏によるデザインを使用
上野エリアの9つの文化・芸術施設(上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京藝術大学、東京国立博物館、東京都美術館、東京文化会館)をモチーフとする

(日比野克彦氏プロフィール)
1958年岐阜市生まれ。1984年東京藝術大学大学院修了。1982年日本グラフィック展大賞受賞。
1995年第46回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館作家。平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)。地域性を生かしたアート活動を展開。現在、東京藝術大学美術学部長、先端芸術表現科教授。

 - ・ 駅舎内部の漆喰、タイル等の補修および清掃
 - ・ 駅舎内部の建具の改修
 - ・ 駅舎外部の清掃 等
4. 施 工 京成建設株式会社
5. そ の 他 改修工事の完成後、本年秋頃を目途に、駅舎の一部を公開し、東京藝術大学と協働して、歴史的建築物の魅力を伝える展示等を行う予定です。詳細につきましては、決定次第お知らせします。

以 上

【ご参考】

1. 旧博物館動物園駅について

1933年12月開業。当時、駅舎の建設予定地が御料地であったため、御前会議での昭和天皇の勅裁を受けての建設となりました。こうした事情が考慮されてか、駅舎内外の意匠は西洋風の荘厳なつくりとなっております。

開業以後、帝室博物館（現・東京国立博物館）や恩賜上野動物園の最寄り駅として利用されてきましたが、利用者の減少により、1997年に営業休止、2004年に廃止となりました。駅舎やホームなどは当時の姿が残っております。

また、「旧博物館動物園駅」駅舎の位置する一帯は、上野「文化の杜」新構想において、谷中・根津・千駄木・日暮里・上野公園をつなぐポイント「アート・クロス」として、上野エリアにおける新たな文化拠点としての役割を担うことが期待されています。

2. 上野「文化の杜」新構想について

上野地区に位置する文化・文教施設、行政、民間企業等で構成する『上野「文化の杜」新構想推進会議』が、2020年に向けた国際発信戦略として2015年7月にとりまとめたものです。

3. 東京都選定歴史的建造物について

東京都景観条例に基づき、歴史的な価値を有する建造物（原則として建設後50年を経過しているもの）のうち、景観上重要なものとして都知事が選定するものです。

2018年4月末現在、東京藝術大学（赤レンガ1号館、2号館ほか）、伊勢丹本店本館、葛飾区山本亭等のほか、吾妻橋や言問橋等、全93件が選定されております。

4. 東京藝術大学と京成電鉄との連携・協力に関する包括協定の締結について

2017年6月26日付で、東京藝術大学と京成電鉄では、文化・観光の振興等の分野で緊密な協力関係を築き、地域社会の発展、ひいては日本の芸術文化の振興を図ることを目的とし、京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関して連携・協力を推進することに合意し、包括協定を締結しました。

以 上